

traceability サイト導入モデル

サイト委託からサイト運用までの流れ

traceability とは

食品はその流通経路が複雑で不明確である。トレーサビリティとは、食品の産地から販売店までの流通経路を記録・開示が可能なものである。トレーサビリティには QR コードが使われ、現在の主流となっている RFID タグよりも水に強く、印刷するコストが安いいため、これを用いたトレーサビリティシステムが今後も使われていくことが推測される。



QRコードのサンプル

サイト導入手順

サイトを運用するまでの手順を業者と生産者ごとに分けてみました。

業者



スキルのある第一次産業関係者
プロジェクトメンバー

納品



生産者



情報を発信したい
第一次産業従事者

業者が行う作業

1. サイト構築作業

生産者から委託を受け、仕様書に基づいてサイトのレイアウトを構築する



漁業用テンプレートサイト



漁業用テンプレートサイト



農業用テンプレートサイト

2. レンタルサーバの提示

サイトを設置するレンタルサーバを提示し選んでもらう

サーバレンタルプラン

- ・さくらインターネット 初期費用 ¥1000~ + ¥125~/月
- ・ファーストサーバ 初期費用 ¥5250~ + ¥1365~/月
- ・Xbit レンタルサーバ 初期費用 ¥5250~ + ¥1260~/月



さくらインターネット



ファーストサーバ

3. サイト設置作業

構築したサイトをサーバに設置する。その後基本的な設定項目も入力しておく。



管理画面 TOP



ブロック管理



設置作業の様子

生産者が行う作業

1. サイト運用準備

タイトルロゴを設置する

サイト紹介や生産者情報・製品情報モジュールに記述する

写真日記に必要なメールアドレスの取得、及びテスト投稿を行う



製品情報記入



メールアドレス取得

2. サイト運用後

サイト運用後は様々なモジュール内容の更新を行う

写真日記

携帯メールで記事を更新

掲示板

消費者との交流を図る

ニュース

近況状況や現場の情報を配信

レシピ

地元ならではのレシピを紹介



写真日記投稿



ニュース投稿



レシピ投稿